

5 領域とのつながりを明確化した支援内容

< ③ 認知・行動 >

児童発達支援/放課後等デイサービス・ネオライフ児童園

〜ねらい〜		
① 認知の発達と行動の習得 ② 空間・時間・数等の概念形成の取得 ③ 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動		
〜具体的な支援内容〜		支援プログラム <一例>
感覚や認知の活用	障害特性に応じた、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用して必要な情報を収集しやすいよう、絵カードや文字カード、色や音、道具を用いて認知機能の発達を促す支援を行う。	・ 折り紙・ブロック・積み木などを使った創作活動 ・ ボードゲーム 将棋・すごろく・オセロ (数の認識・人との関わり) ・ 声のボリュームコントロール (掲示物) ・ 粘土遊び (物質の変化と感覚の認知形成) ・ ブロック (空間把握の認知形成) ・ 天気・気温・日付の把握と確認
知覚から行動への認知	集団活動やグループ活動の中で、活動内容を理解しやすいよう、絵カードやルール表を用いて「見える化」するなどの環境から、必要なメッセージをお子様自ら選択し、行動に繋がられるよう一連の認知過程の発達を支援する。	
認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。	
数量、大小、色等の習得	遊びの中で、数量の予測、大小の選択、色の認知などの習得のための支援を行なう。	
認知の偏りへの対応	認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行なう。	
行動障害への予防及び対応	感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行なう。	